

問寒別地区・地域づくりビジョン【概要編】

輝く将来像

「田舎だからこそ、有るもの活かそう！工夫と協働のといかん」

1. 社会状況の変化

(1) 近年の変化

- 1) 経済の変化でお金から心の豊かさへ
- 2) 大災害の頻発によるコミュニティの必要性の再認識
- 3) コロナ禍による都会の脆弱性の露見
- 4) 技術革新による交通革命、遠隔医療の発展
- 5) 首都圏などから道内町村部への転入増加傾向

(2) ライフスタイルや価値観の転換

- 1) 田舎の良さの再認識
 - ① 豊かな自然
 - ② コミュニティ力による安全安心が大きな価値
- 2) 多様性の時代により経済効率性で評価できない「田舎暮らし」が認知
- 3) 都会でなくても可能な新たな働き方の出現
- 4) 田舎の欠点が技術革新等により解消されていく

2. 問寒別地区の現状

(1) 困っているところ

- 1) 人口減少・少子高齢化、小家族化、世代の偏在
 - ① にぎわいが少ない
 - ・特に子どもが少なくなり、にぎわいが少ない
 - ② 町内会活動や団体活動などの維持に不安
 - ・役員のなり手不足、一人で多くの役割を担う状況
 - ③ 地域経営のひっ迫
 - ・インフラ等の維持管理コストの上昇、地域経営のひっ迫
 - ④ 働き盛りの担い手が少ない
 - ・地域活動の担い手が少なく、機能伝承が困難
- 2) 産業
 - ① 離農
 - ・離農による地域経済循環の停滞、農地の維持困難、受入体制
 - ② 建設業などの担い手不足
 - ・建設業等では、従業者不足の常態化
- 3) 生活利便性(買物、移動)
 - ① 商店の維持
 - ・地域商店の持続的運営に不安
 - ② 「移動の足」の確保
 - ・交通サービスの利用者は少ないが日常生活における移動手段の確保
- 4) 雇用や移住・定住と住宅
 - ① 従業者用の民間賃貸住宅不足
 - ・民賃住宅がほぼ無く、従業者の定住が困難
 - ② 農業研修生、移住者の住宅
 - ・民賃住宅が無く、住宅探しが困難
 - ③ 高齢者の住み続け
 - ・高齢者等の集合住宅が無く地域外に転出

(2) 良いところ

- 1) 地域のつながり
 - ① 支え合い・助け合い
 - ・地域のつながりが強く、お互いに支え合い・助け合うことで、安心な住み続けが可能
 - ② 子どもは地域で育む
 - ・住民全員がPTAに所属するなど、地域ぐるみでの子どもの育み
 - ③ 団結力と自立力
 - ・地域が一致団結し、お祭りなどで大きな力を発揮
 - ・地域での困りごとを、自ら行動して解決する自立力が存在
 - ④ 受入れる懐の広さ
 - ・外からの人を暖かく親切に受入れるため、移住者は快適で安心して住むことが可能
- 2) 多様な産業
 - ① 多様なスキルの担い手
 - ・農業者等の多様なスキルが地域で活躍
 - ② 交流人口
 - ・研究機関では多くの交流人口がある
- 3) 豊かな地域資源
 - ① 大自然の風景
 - ・四季を通して美しい自然
 - ② 大自然の恵み
 - ・山菜やキノコ、魚などの恵み
 - ・スキーや釣りなど大自然でのレジャーが可能
 - ③ 大自然が人を育む
 - ・大自然の恵みによる豊かな人間形成が可能
 - ④ 多様な地域資源
 - ・秘境駅など魅力ある地域資源が多数存在
- 4) 近年の新たな動き
 - ① 新しい働き方
 - ・新しい働き方により起業する例が出現
 - ② 酪農業の魅力アップ
 - ・酪農業に憧れ、体験を希望する研修生が増加
 - ③ 世帯数の増加と「外の目」
 - ・転入者が感じる「といかん」の良さが、地域の誇りにつながっている

1. 幸せに住み続けられること

- (1) 支え合い・助け合いによる住み続け
 - ・地域全体でみんながみんなを支え合い、助け合うことでいつまでも幸せに住み続けられる地域コミュニティの形成
- (2) 高齢者の問寒別地区での住み続け
 - ・高齢者が地域外に転出せずに住み続けられること
- (3) やりがいや生きがいを感じられる地域
 - ・幸せを実感するために、やりがいや生きがいを持って暮らすこと

2. 若者の移住定住の促進と住宅供給

- (1) みんなの受入れ力の持続・向上
 - ・外からの人を心地よく受入れる力の持続、向上
- (2) 若者従業者のための住宅供給
 - ・若者従業者のための民間賃貸住宅などの供給
- (3) 空き家の利活用
 - ・多様な住宅ニーズに対応するため、空き家の中古住宅としての活用

3. 持続的な産業

- (1) 産業の担い手(酪農業、建設業、交通等)の確保
 - ・産業の担い手の確保のための地域全体での仕組みづくり
- (2) 問寒別地区の資源を活用した「プチビジネス」の促進
 - ・山菜などの豊かな地域資源を活かした新規ビジネスの展開
 - ・キャンプなど大自然を活かしたレジャーなど新規ビジネスの展開

4. 新たな地域運営

- (1) 町内会の維持
 - ・担い手不足などに悩む町内会活動の維持
- (2) 子育て、趣味、生涯学習等の地域活動の維持
 - ・子どもの健やかな成長のため、盛んなサークルや地域活動の維持
- (3) 公共施設・公共サービスの維持
 - ・人口が減少しても必要な公共施設や公共サービスの提供
- (4) プチ雇用の活用とのマッチング
 - ・多様な地域産業の小さな雇用、短時間の雇用を活かした新しい働き方の実現
- (5) 関係人口を巻き込んだコミュニティ形成
 - ・研究機関に来訪する研究者などの関係人口を活かした地域活性化の推進

5. みんなの居場所(複合拠点)づくり

- (1) 拠点づくり(地域運営、コミュニティ、買物、仕事等)
 - ・誰もが気軽に行けて、困りごとの相談、支え合い・助け合いの拠点づくり
- (2) 空き家・空き店舗の活用の検討
 - ・拠点施設、新規の施設整備だけでなく、空き家、空き店舗の活用の検討
- (3) やりがいや活躍の場
 - ・支え合い・助け合いの担い手になるなど、自分の役割があり、活躍の場になること

6. 生活利便性の維持

- (1) 食料・日用品商店の維持、買物支援
 - ・徒歩生活者のための地域商店の維持や買物支援
- (2) 飲食店・配食サービスの維持
 - ・高齢者や子育て世代、酪農家のための飲食店の維持と配食サービスの提供
- (3) 徒歩生活者の「移動の足」の確保
 - ・小数利用者が前提のきめの細かいサービスと経営に配慮した地域公共交通システムの提供

1. ごちゃまぜプロジェクト

【考え方】

- ・幸せに住み続けられるように、いろいろな人が交わり、支え合い、助けられるような、みんなの居場所、自分の役割がある場をつくる

【具体の取組例(目標)】

1-1 いつでもみんなが気軽に集まれるたまり場づくり

- ・そこに行くのと知り合いがいて、地域みんなが立ち寄れるたまり場をつくる

1-2 障がい者や高齢者など地域みんなの活躍の場づくり

- ・お茶出しや徒歩の高齢者を車に乗せて帰るなど、小さな役割がたくさんある場をつくる

【対応する課題(II)】

1. 幸せに住み続けられること

(1)支え合い・助け合いによる住み続け

(2)高齢者の問寒別地区での住み続け

(3)やりがいや生きがいを感ぜられる地域

2. 多様な住まいと住み続けプロジェクト

【考え方】

- ・新しい働き方やライフスタイルなどに対応した住宅供給を図ることで移住定住の受け皿にする
- ・高齢者が快適・安心に住める集合住宅を供給し問寒別地区に住み続けられるようにする

【具体の取組例(目標)】

2-1 多様な働き方に対応した住宅づくり

- ・新しい働き方への対応と従業者のための賃貸住宅を供給し、移住定住を図る

2-2 アグリコレクティブハウス(農村型集合住宅)

- ・農業の第一線を退いた人や農業研修生、若い後継者家族などが暮らす集合住宅で、個室に加え、みんなで食事をするなど多目的に利用できる共用スペースのあるシェアハウスを供給する

【対応する課題(II)】

1. 幸せに住み続けられること

(1)支え合い・助け合いによる住み続け

(2)高齢者の問寒別地区での住み続け

2. 若者の移住定住の促進と住宅供給

(2)若者従業者のための住宅供給

3. 子どもは地域で育むプロジェクト

【考え方】

- ・問寒別地区の自然や人のつながりを活かし、地域みんなで子どもを育み、豊かな人間を育む
- ・都会に行っても、「といかん」の良い思い出を残し、Uターンの選択肢となる

【具体の取組例(目標)】

3-1 地域独自の子育て活動の持続的展開

- ・豊かな自然を活かした「といかん」ならではの子ども活動により、「ここで子どもを育てたい」と思う親と、そこで育った子どもが親になったとき同じように考えるようになる

3-2 地域みんながPTA

- ・人のつながりを活かし、全世帯がPTAに所属し、地域ぐるみで育み続け、高齢者などは、子どもに関わることで幸せになれる

【対応する課題(II)】

4. 新たな地域運営

(2)子育て、趣味、生涯学習などの地域活動の維持

4. 自分ごと地域運営プロジェクト

【考え方】

- ・人口が減っても、除雪や施設の運営などきめ細やかな生活サービスを維持する
- ・住民が主体となる地域運営組織により、新たな雇用と、人口増加に寄与する

【具体の取組例(目標)】

4-1 住民主体の地域運営組織の立ち上げ

- ・地域外からの人材を活用し、地域課題を解決する取組を行う地域運営組織をつくる

4-2 生活支援

- ・少数利用者のための質の高い交通を実現する

4-3 町内会活動や各種行事の支援

- ・町内会活動や行事の企画・運営など、既存の組織の困りごとを支援し地域活動を支える

4-4 公共的機能の代替

- ・行政が担っているインフラの維持管理等を代替し、サービスの維持と新たな雇用を生み出す

4-5 地域情報の収集と発信

- ・地域情報の収集と地域内外への発信により、問寒別地区のブランド力を高める
- ・地域の困りごと情報を収集し解決する
- ・空き家、雇用などの情報を収集・発信し地域内産業を支援する

【対応する課題(II)】

2. 若者の移住定住の促進と住宅供給

(3)空き家の利活用

4. 新たな地域運営

(1)町内会の維持

(2)子育て、趣味、生涯学習などの地域活動の維持

(3)公共施設・公共サービスの維持

6. 生活利便性の維持

(1)食料・日用品商店の維持、買物支援

(2)飲食店・配食サービスの維持

(3)徒歩生活者の「移動の足」の確保

5. ずっと続く産業プロジェクト

【考え方】

- ・「地域全体が一つの会社」の発想で、雇用の確保などを、地域全体で取り組む
- ・問寒別地区の資源と人の能力を使った新たなビジネスを展開する

【具体の取組例(目標)】

5-1 雇用の確保や研修生の募集・受入れ

- ・必要な雇用の確保や酪農業の研修生の募集・受入れなどを地域全体で取り組む

5-2 人材の融通と仕事・サービスの共同化

- ・季節雇用の融通や通年雇用化により、雇用の創出と定住を促進する
- ・酪農業の繁忙期などに配食サービスを行う

5-3 新たな働き方による労働力の確保(プチビジネスハローワーク)

- ・ちょっと働きたい子育て世代やリタイア世代と臨時的に発生する雇用の組み合わせ(マッチング)を行う

5-4 「といかん共同果樹園」の立ち上げと運営

- ・いろいろな人が関わる共同果樹園を立ち上げ、運営することにより、地域ににぎわいが生まれ、生きがいの場となり、プチビジネスが生まれる

【対応する課題(Ⅱ)】

3. 持続的な産業

- (1)産業の担い手の確保
- (2)問寒別地区の資源を活用した「プチビジネス」の促進

4. 新たな地域運営

- (4)プチ雇用の活用とのマッチング

7. “当たり前”に新たな価値を吹き込むプロジェクト

【考え方】

- ・当たり前にあるものに価値を見出し、それが地域の誇りになり、次世代につなぐ
- ・外の目として、研究機関や秘境駅に関連する関係人口を活用する
- ・当たり前を活用したビジネスを展開する

【具体の取組例(目標)】

7-1 関係人口による良さの発見と地域内外への発信

- ・関係人口の多さを活かし、当たり前のものに価値を見出し、地域外に発信し「といかん」ファンを増やす
- ・地域内にも発信し、誇りを醸成する

7-2 「といかん・みんなの市」を使った地域の良さの再発見

- ・山菜などの自然の恵みや、手工芸品など地域活動の成果を直売し、プチビジネス化し、やりがいのある活動にする

【対応する課題(Ⅱ)】

2. 若者の移住定住の促進と住宅供給

- (1)みんなの受入れ力の持続・向上

3. 持続的な産業

- (2)問寒別地区の資源を活用した「プチビジネス」の促進

4. 新たな地域運営

- (5)関係人口を巻き込んだコミュニティ形成

6. 小さな多機能複合拠点プロジェクト

【考え方】

- ・買物や飲食やお話ができるスペースがある小規模多機能拠点を開設する
- ・空き店舗等の活用を検討し、みんなの居場所、情報の収集・発信基地、やりがいの場とする

【具体の取組例(目標)】

6-1 小さな多機能拠点づくり

- ・そこに行けば、生活のほとんどの用事が済むような機能(買物や飲食、交通拠点)があり、みんなの居場所となる小さい多機能複合拠点をつくる

6-2 空き家・空き店舗の活用

- ・空き店舗等の活用により、まちなかの活性化について検討する

【対応する課題(Ⅱ)】

5. みんなの居場所(複合拠点)づくり

- (1)拠点づくり
- (2)空き家・空き店舗の活用の検討

IV. 基本計画の推進方策

1. 推進上の課題

- 地域づくりビジョンを計画で終わらせない
- 住民が推進に主体的に関わる
- 長期間でのモチベーションの維持

2. 具体的な推進方策

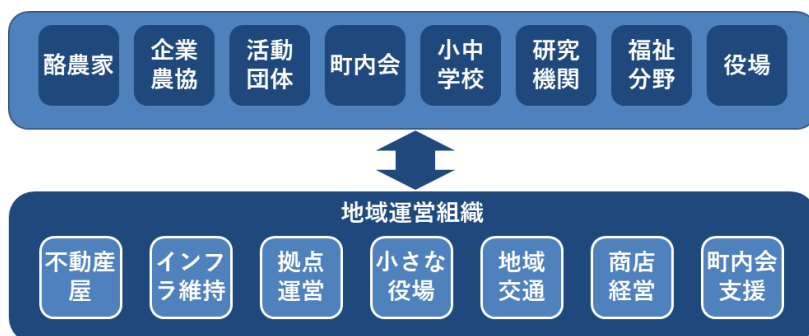
- 推進体制
 - ・住民懇談会の継続
 - ・その都度できる人で実施する
- 具体的な推進方策
 - ・やってみる
 - ・優先順位を考える
 - ・無理をせず一歩ずつ前に進む
 - ・知ってもらう
 - ・「といかん」の良さを忘れない
 - ・子どもたちの未来を考える

3. 将来的な住民による地域運営のイメージ

- ・将来的には、住民が主体となった地域運営組織の立ち上げを目指します。
- ・地域の楽しみゴトや必要なコトモノをビジネスに変えて様々な仕事を実施することで、自立できるようにします。
- ・住民による地域運営組織が、人口の少ない間寒別地区での持続可能な地域運営の鍵を握ります。



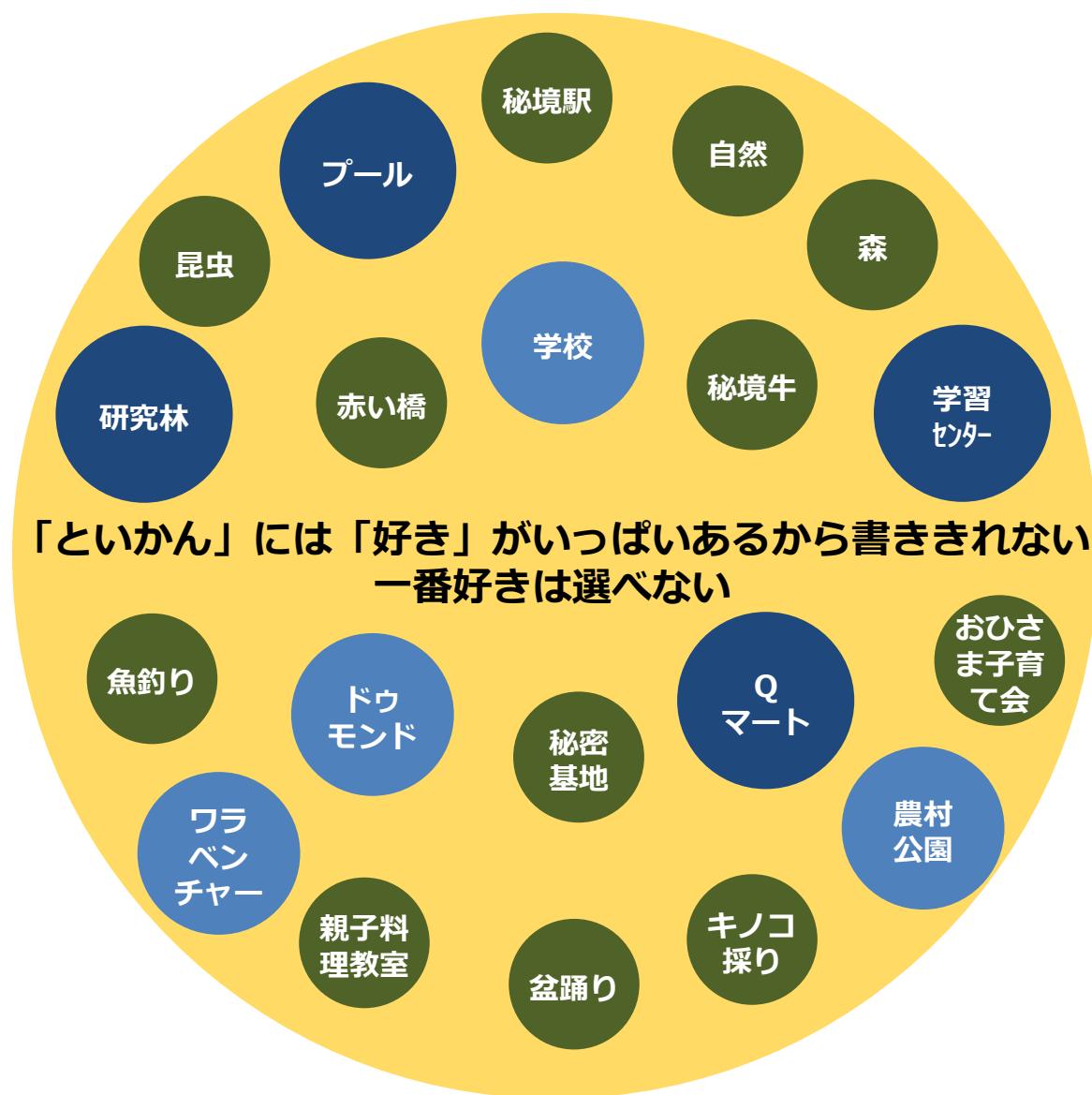
【私たちの地域暮らしを支える「地域」と「地域運営組織」と「役場」の関係】



住民による地域運営組織の機能と地域の事業者、団体等との連携イメージ

V. 未来につなぐ子どもたちの想い

- ・「問寒別地区・地域づくりビジョン」は「といかん」の未来をつくる道標です。
- ・子どもたちが大きくなって、「といかん」に住みたいね、子どもは「といかん」で育てたいねと言ってもらえる地域にしていきたいです。



「といかん」を離れて帰ってきたとき どんな「といかん」であってほしいか

学校がにぎわっていてほしい
店や人、公共施設が増えていてほしい

そのために今からどうしたらいいか

「といかん」のいいところを伝えていく
知名度を上げる
ここにしかない注目されるものを建てる
古くなった住宅の更新

